

2019 年度事業報告

2019 年度も 2018 年と同様、災害の多い年になりました。とりわけ台風 19 号は 7 県 140 ヶ所にも及ぶ河川の堤防決壊があり、改めて広域的災害に対応するためのネットワークの必要性を感じました。ゆめ風基金では 2018 年に「ゆめ風応援団」の設置を決めましたが、今後さらにネットワーク拡大に力を入れていきます。障害者団体に限らず、全国の災害支援の団体とも連携が取れつつあり、台風 19 号においても情報収集などの協力を得ています。

災害が多かったことで、寄付金も 2018 年度同様に多くの方から協力いただきました。年末に遺産相続に伴う寄付として 1 千万円をくださる方がいて、総額は 2018 年より 1 千万円多い 6562 万円余りとなりました。(会費含む。2020 年にも同様の寄付として 500 万円をいただきました。)

また家具転倒防止の取り組み、「りすくのっく」も立ち上げられ障害者個人の防災対策の強化にも取り組みました。

2018 年に完成した中学生プロジェクトの DVD についても広報に力を入れているところです。

以下に今年度の具体的活動をご報告します。

1. 被災障害者救援事業

(1) 2019 年台風 19 号

2019 年 10 月 12 日に上陸した台風 19 号は、災害救助法適用自治体が 2019 年 11 月 1 日現在で 14 都県・390 市区町村におよぶなど、東日本大震災を超えて過去最大の適用となりました。広い範囲で大きな被害をもたらしましたが、広範囲ゆえにゆめ風基金本体は現地に行かず、ゆめ風ネットや東日本で関係ができた障害者団体などから情報を得て、以下の支援を行いました。ただ被害の大きさから、個人支援は行わない、備品等の支援も基本的に 8 割の補助とすることなどを決めざるを得ませんでした。

発災当初、救援金を要請される団体は多かったのですが、その後はあまり申し出も少なく、広い範囲にゆめ風基金の情報がどこまで伝わったかは定かではありません。

台風 19 号被害に支出した救援金

社会福祉法人にんじん舎の会	福島県郡山市	休憩スペース・トイレの修理費	¥685,300
社会福祉法人にんじん舎の会	福島県郡山市	デイセンターパソコン購入費用	¥80,000
株式会社かるみあ かるみあ郡山	福島県郡山市	書庫などの購入費	¥160,380
株式会社かるみあ かるみあ須賀川	福島県須賀川市	書庫などの購入費	¥128,172
株式会社かるみあ かるみあ須賀川 就労A型	福島県須賀川市	パソコン購入費	¥80,000
株式会社かるみあ かるみあ郡山 就労A型	福島県郡山市	パソコン購入費	¥80,000

NPO 法人すだち会 地域活動支援センターげんき	福島県郡山市	パソコン・プリンター・電話購入費	¥144,530
合同会社ケーエム・ジェイ ケアセンター楽笑	福島県郡山市	パソコン購入費	¥80,000
NPO 法人ほほえみの間	福島県郡山市	パソコン購入費	¥80,000
一般社団法人めるくまーる	宮城県黒川郡大郷町	人件費	¥2,480,000
NPO 法人しんせい	福島県郡山市	福豆荘(障害者 14 名が入居している下宿)の家電購入費の一部	¥645,223
		合計	¥4,643,605



ほほえみの間



めるくまーる

また 2019 年度の理事会で支援を決定したものの、2020 年に入って救援金を送付した団体は以下のとおりです。

NPO 法人ままは一と	福島県いわき市	備品購入費	¥500,000
NPO 法人しんせい	福島県郡山市	緊急物資(水等)	¥165,717
NPO 法人みんなのしあわせプロジェクト	福島県相馬市	車両購入費	¥1,654,000
NPO 法人ままは一と	福島県いわき市	浸水被害によるリフォーム工事費	¥2,500,000
		合計	¥4,819,717

(2) 2019 年台風 15 号

2019 年 9 月 5 日に千葉県を中心に襲った台風 15 号は、暴風により長期の停電をもたらしました。

先の台風 19 号においても、この台風 15 号においても理事でもありネット横浜港北で活動する仲間が千葉県を訪れ、被害で困っている団体を探し出してくれました。また、「きょうされん」等の関係団体からも情報が寄せられ、JVOADなどを通じて、ゆめ風基金の支援について情宣頂きました。

台風 15 号被害に支出した救援金

NPO 法人生活困窮・ホームレス自立支援ガンバの会	千葉県市川市	障害者・高齢者への炊き出し支援費	¥50,000
株式会社ライフサポートピュアジャパン	千葉県安房郡鋸南町	設備修理費・運営費の一部	¥1,540,648
NPO 法人たからばこ	千葉県南房総市	半壊した事業所の改修工事費	¥1,794,299
		合計	¥3,384,947

(3) 2019 年 8 月の豪雨災害

2019 年 8 月に秋雨前線が停滞し、27 日から 29 日にかけて集中豪雨をもたらす線状降水帯が生じました。これにより佐賀県と福岡県、長崎県を中心に大きな被害が発生しました。とりわけ佐賀県武雄市、大町町は激甚災害に指定されるほど被害が甚大でした。しかし、きょうされんも佐賀に支部がなく情報が取れませんでした。障害者政治ネットワークの藤林議員が現地を訪問し、被災した障害者事業所の情報をくれました。八幡が 8 月末に九州の講演があったことから少し足を伸ばし、現地を訪問し被災障害者事業所と面談ができ支援を決定しました。

2019 年 8 月の豪雨災害に支出した救援金

NPO 法人菜菜	佐賀県武雄市	車両、パソコン、プリンター購入費	¥2,950,000
株式会社 RIGHT PLACE	佐賀県武雄市	放課後等デイサービスガラパゴスの建物補修工事、従業員給与、車両費、備品費の一部	¥4,000,000
		合計	¥6,950,000



菜菜



放課後等デイサービスガラパゴス

(4) 2018年大阪北部地震

2018年6月に発生した大阪北部地震については2017年度に認めた個人見舞金の他、新たに1件の申請があり救援金を支出しました。その他にも2件の申請がありましたが、財政力があること、計画の全体像が定かでないなどの理由で理事会としては却下している状況です。

大阪北部地震に支出した救援金（2018年度¥9,621,080）

茨木市聴力障害者協会	大阪府茨木市	障害者個人へのお見舞金(1人分)	¥50,000
社会福祉法人花の会 第2共働舎 花の会	大阪府高槻市	障害者個人へのお見舞金(4人分)	¥200,000
NPO 法人障害者の自立を支える サポートネットワーク	大阪府豊中市	屋根の修理費	¥311,040
		合計	¥561,040

(5) 2018年北海道胆振東部地震

2018年9月には北海道の胆振地方を中心に大地震が発生し、札幌市内でも液状化現象により、作業所の移転を迫られるなど障害者拠点が被害を受けました。

2018年北海道胆振東部地震に支出した救援金（2018年度¥1,807,608）

NPO 法人自立支援センター歩歩路	北海道札幌市	移転、運営費	¥1,069,637
-------------------	--------	--------	------------

(6) 2018年西日本豪雨

2018年7月には西日本を中心として大雨が振り続け、大きな被害をもたらした災害です。2017年度に引き続き支援要請が来たので、支援を行いました。

2018年西日本豪雨（2018年度¥44,649,350）

社会福祉法人あゆみ会	広島県安芸郡熊野町	障害者活動センターあゆみの移転に ともなう運営資金	¥258,785
吉田町手をつなぐ育成会	愛媛県宇和島市	備品購入費	¥255,960
		合計	¥514,745

(7) 東日本大震災

東日本大震災から9年が経ちました。いまなお被災地では仮設住宅に4千人、友人や知人宅に8千人あまりが避難をしており、全国の避難者数は4万8000人あまり（2020年1月14日現在）となっています。

ゆめ風基金では近畿労働金庫がおこなっている「サポートV」による支援金を10年間にわたりいただいております。今年度からは建物などの直接的な復興支援から、被災地の10年を見据えた人材育成などにも支援を行うことを決定しました。

NPO 法人障害者ベース 石巻によつきり団	宮城県石巻市	運営資金	¥1,300,000
※NPO法人奏海の杜	宮城県登米市	障害児親子の大阪研修	¥648,000
		合計	¥1,948,000

累計額 333, 515, 224 円

※これは救援金とは違い、サポートVによる特別助成

2. 障害者防災活動支援事業

(1) 講演活動、ワークショップ

○障害者防災シンポジウム

2017年、2018年と行ってきた「障害者防災リーダー養成講座」に代わり、2019年は、防災シンポジウムを5月26日に行いました。

また10月6日には福島県より青田由幸さんを招き、講演会を行いました。



○その他 61 件の講演、授業活動を行いました。

(2013年 24 件、2014年 41 件、2015年 43 件 2016年 41 件、2017年 46 件、2018年 50 件)

2019 年度 講演先一覧

1月17日 京都市京都知的障害者福祉施設協議会
 1月19日 下関市 下関市社会福祉協議会
 1月22日 横浜市 横浜市社会福祉協議会
 1月24日 大阪府堺市
 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)
 1月26日 香川県観音寺市
 社会福祉法人ラーフ リール
 1月30日 大阪市城東区香川市
 城東区まちづくりセンター
 2月2日 大阪市中央区
 おおさかボランティア協会
 2月5日 横浜市
 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)
 2月12日 愛知県豊田市 豊田市

2月20日 高槻市
 2月21日 22日 大阪府堺市
 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)
 2月22日 大阪府岸和田市
 2月28日 京都市
 京都市中部障害者自立支援協議会
 3月17日 神戸市 眼の会
 3月30日 貝塚市 貝塚市障害者児団体連絡会
 4月6日 大阪市天王寺区
 自立生活センタームーブメント
 4月12日 摂津市 三島人権擁護委員協議会
 4月23日 貝塚市 貝塚市障害者児団体連絡会
 5月24日 大阪市 大阪知的障害者福祉協会
 6月21日 東大阪市 若草会
 6月29日 神戸市 パレット

6月30日	堺市 さかい聴覚障害者防災ネットワーク	10月19日	尼崎市 みんなの労働文化センター
7月9日	明日香市 明日香養護学校	10月25日	広島市 枚方市社会福祉協議会
7月10日	摂津市 つながりの会	11月5日6日	大分市 社会福祉法人大分県社会福祉協議会
7月22日23日	大阪府堺市 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	11月7日	長浜市 長浜米原しょうがい者自立支援協議会
7月25日	京都市中京区 京都市地域リハビリテーション推進センター	11月10日	尼崎市 NPO法人 尼崎身体障害者連盟福祉協会
8月1日	大阪府堺市 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	11月11日	貝塚市 公益財団法人市民防災研究所
8月5日	大阪府堺市 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	11月13日	明石市 近畿労働金庫 明石支店
8月30日	大阪府城東区 城東区社会福祉協議会	11月14日	尼崎市 みんなの労働文化センター
9月3日	横浜 ビッグ・アイ(国際障害者交流センター)	11月16日	久留米市 久留米防災士研修会
9月6日	柏原市 障害者基幹相談支援センター	11月20日	茨木市 茨木市立平田中学校 小西陽子
9月7日	貝塚市内障害児者施設連絡会	11月22日	観音寺市 三観地地域自立支援協議会
9月11日	大阪市 城東区社会福祉協議会	11月24日	枚方市 ひらかた防災プロジェクト
9月27日	福岡市 NPO法人 空(そら)	11月29日	大阪市 福島区社会福祉施設連絡会
9月28日	大牟田市 大牟田市障害者協議会	11月30日	宇部市 障がい者の防災・避難を考える市民の会
9月29日	広島 てごーす	12月3日	八尾市 中河内障がいフォーラム
10月8日	大阪市 (一社)大阪自閉スペクトラム症協会	12月7日	明石市 135Eネット
10月15日	大阪市 福島区地域包括支援センター	12月14日	猪名川町 猪名川町社会福祉協議会
		12月21日	由良町 日高地方障害者ふれあい交流会実行委員会

(2)防災ネットワーク活動

- ① 東日本大震災直後から関西の障害者団体と協働で大阪救援本部を設立し、被災地救援活動や、被災者交流、東北～関西ポジティブ生活文化交流祭、街頭カンパなどの支援活動を行っています。街頭カンパ活動は震災直後から大阪なんばで毎月実施されました。前年度からは3月、9月、12月の第二土曜日に行うこととなりました。
- ② 地元の啓発小学校(むくのき学園)の要請で長崎、福本が出向き(年度後半は福本退職にともない長崎一人)授業を実施しました。
- ③ B C P研究会 (協力)
引き続き大規模災害時における事業継続計画(B C P)策定研究に取り組みました。
- ④ おおさか防災ネットワーク
現在大阪では今後の災害に備えて、大阪の様々な団体(社共、大阪ボラ協、日赤、防災士会、N P O団体、企業など)が連携して動けるようにネットワークを組んでいます。これまでは定例会に参加するのみだったのですが、2017年12月よりゆめ風基金も世話役団体となって出席しています。

(3)中学生プロジェクト大阪行動する障害者応援センターとの協働事業)

2019年は次の2ヶ所で中学生プロジェクトを実施しました。

【摂津第二中学校】

3年生173人を対象に実施

8月2日(金) 先生と打ち合わせ

11月13日(水) 事前講習 応援センター:3人、手と手とハウス:3人

11月15日(金) 避難訓練 応援センター:11人、手と手とハウス:6人、ぼぼんがぼん:2人、
ほくせつ24:3人、個人:1人

【柴島中学校】

2年生40人を対象に実施

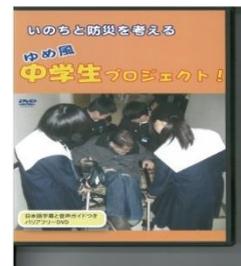
10月3日(木) 先生と打ち合わせ

12月2日(月) 事前講習① 応援センター:2人、手と手とハウス:2人

12月4日(水) 事前講習② 応援センター:1人

12月6日(金) 避難訓練とまとめ 応援センター:7人、手と手とハウス:3人

このほか2017年に完成した中学生プロジェクトのDVD販売にも力を注ぎました。



(4) 障害者市民防災活動助成事業

2019年度の障害者市民防災活動助成については4件の申請があり、下記の3件について助成しました。(1件の申請については前年度に助成しており、本年度もほぼ同じ内容の申請であったため却下しました。)

① チームもちもち (大阪市)

大阪と福島をつなぐ事業所のつどい

原発事故後の福島を応援していくためにボランティア等が集まった任意の団体。今回は大阪と福島の障害者が交流合宿を行い、来年の福島開催に向けた内容確認と準備を行うというもの。大阪の様々な団体も集まり、当事者の中でも今から自立を目指していく障害者にスポットを当て、次世代を担う若手の交流会として開催する。

10万円助成決定

② 特定非営利活動法人ドリーム(名古屋市)

脳卒中障害者のための災害セミナー

名古屋市港防災センター長:「障害があってもどのように自分の命を守るのか」、愛知医科大学感染学教授:「薬がなくなった場合の対処の仕方」、「汚染水などに感染しないように」等について講演を受け学ぶ。実践として「片手でもできる防災食」試食。

講師料、印刷宣伝費等100,049円の内94,740円の助成を申請。

94,740円助成決定

③ happiness ハピネス (富山県富山市)

耳の聞こえない人と家族のための防災教室

人口内耳友の会の人(人口内耳友の会熊本)と防災士協会の人を呼んで勉強会を開催する。

トータル107,752円、そのうち49,552円を補助してほしいという申請。

49,552円を助成決定

(5) 障害者防災提言集、事例集等の広報、販売をしました。

- 東日本大震災版障害者防災提言集(2013年3月発行) 29冊販売 完売
- 旧提言集改訂版(2012年12月発行) 62冊販売
(2014年166冊、2015年122冊、2016年131冊、2017年90冊、2018年53冊)
- 事例集こんなんええやん(2010年3月発行) 33冊販売 完売

- DVD「逃げ遅れる人々」(2013年2月東京救援本部制作) 12本販売
(2014年19本、2015年23本、2016年13本、2017年6本、2018年1本)
- 中学生プロジェクトDVD(2018年3月制作) 77本販売 6本進呈
(2018年161本販売 101本進呈)
- SOSにこたえたい!熊本地震2016~2017年報告冊子 83冊(2018年 219冊)

3. 被災障害者支援を広く訴える活動

(1) ニュースレター「ゆめごよみ風だより」(B5判8~16ページ)を季刊発行し支援者、関係者、関係機関団体に被災地発、障害者発の情報を届けました。東日本大震災以降、支援者は大幅に増え発送先は1万4500人(※昨年より200減)にのぼっています。発行部数は1万6千部。発行回数は1月、5月、9月、12月の4回。

(2) 主催・共催事業

- ① 「カタログハウスの学校」と一緒に続けてきた「ゆめ風であいましょう」を2019年7月6日に東京都板橋区で開催。呼びかけ人代表の小室等さんをはじめ、六文銭のみなさんや小室ゆいさんが第1部で演奏と歌を披露。第2部では詩人のアーサービナードさん、小室等さん、牧ロー二代表の3人で「近くて遠いもの自由」をテーマにトークを繰り広げました。200人以上の方が参加くださり好評でした。
- ② 10月5日近畿労金ホールにおいて「サポートV報告会」を行いました。今年は西日本豪雨災害の報告や「福島のことを考える」と題したパネルディスカッションなどを行いました。
- ③ 11月23日に第10回ポジティブ生活文化交流祭(60団体、3500人参加)を共催しました。

2011年11月から始まった交流祭、関西~被災地の障害者の交流を軸に、すっかり定着しました。2019年は始まって以来の暖かな天候で、多くの参加者を得ることができました。出展の「交流祭実行委員会」には新しい団体も増えて、年々、顔が見える関係とつながりの強化が図られています。また、参加団体の中から地域での防災の取り組みも広がってきています。

(3) 各種メディアに情報発信

「救援活動」、「防災活動」、「ゆめ風基金の活動」、などについて発信しました。

4. 情報の収集、関係諸機関、団体との協力及び連絡調整事業

引き続き関係諸機関、団体との連絡調整活動を行いました。

主な関係団体(委員・役員就任ないしは協働関係)

大阪救援本部、東北大地震東京救援本部(DPI、JIL他)、熊本地震障害者救援本部、障大連、共同連、関定協、被災地NGO協働センター、おおさか災害支援ネットワーク、東淀川区インクルーシブ教育研究会、BCP研究会、大阪ボランティア協会、大阪府教職員組合、大阪市職員労働組合、大

5. その他目的を達成するために必要な活動

(1) シングルCD「ゆめ風応援歌」の販売

2019年は2枚(2015年38枚、2016年29枚、2017年21枚、2018年3枚)販売しました。

(2) 近畿ろうきん提携融資制度「ゆめのたね」実施

2006年からスタートした「ゆめのたね」も15年が経過し、これまで融資を行った団体は50団体、総額1億7920万1000円、そのうち41団体は完済し、現在2108万560円の残高となっています。多くの団体が融資によって新しい事業展開へと実を結び、障害者の日中の場の確保、就労への取り組み等が進んでいます。2019年度の推薦団体は下記のとおりです。

①介護福祉センター北大阪

送迎車利用購入費・人件費等運転資金 300万円 融資日2019年3月

(2回目の融資)

②特定非営利活動法人 総合福祉支援響心会 500万円 融資日2019年7月20日

グループホーム3か所運営。新たに生活介護と就労支援B型を開始するため、譲り受けた建物で法人本部、生活介護、就労支援B型を1か所で運営予定。改装費用、運転資金。

(3) 「ゆめ風ネットワーク」

全国54の障害者団体がゆめ風ネットとして、災害時の窓口を引き受けてくださっていて、大変心強い存在です。2018年年度のネットワーク数は54団体となっています。

6. 会員構成と会議の記録

①会員の構成

運営会員:17個人、54団体

通信発送会員:14,511人

(2018年14,701人、2017年14,744人、2016年14,700人、2015年14,661人、
2014年14,562人、2013年14,549人)

領収書発行数:2020年1月2900人

(2019年3044人、2018年2276人、2017年3595人、2016年2529人、2015年2583人)

②会議

○第18回定時総会を3月23日神奈川県相模原市市民会館で行いました。

2018年度事業報告、決算報告、2019年度活動計画が承認されました。

○理事会を11回にわたって開催しました。

第1回 理事会 2019年1月23日(水)16:00~

第2回 理事会 2019年2月27日(水)16:00~

第3回 理事会 2019年3月23日(土)15:00~

- 第4回 理事会 2019年5月30日(木) 16:00~
- 第5回 理事会 2019年6月5日(水) 16:00~
- 第6回 理事会 2019年6月26日(水) 18:00~
- 第7回 理事会 2019年7月17日(水) 18:00~
- 第8回 理事会 2019年8月20日(火) 18:00~
- 第9回 理事会 2019年11月1日(金) 16:00~
- 第10回 理事会 2019年11月18日(月) 15:00~
- 第11回 理事会 2019年12月9日(月) 16:00~

2019年度事活動決算報告に関する件及び監査報告

別紙参照